

「高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種」説明書

接種を受ける前によく読み、予防接種の効果や副反応、健康被害を十分にご理解ください。

令和 6 年度定期接種期間及び広域券の有効期間: **令和6年 10 月 1 日～令和7年 1 月 31 日**

新型コロナウイルス感染症とは

ウイルスを含む飛沫やエアロゾル(ウイルスを含んだ小さな水分)を吸い込んだり、ウイルスを含む飛沫が口、鼻、目などの露出した粘膜に付着することで感染します。主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状であり、頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害を呈する場合があります。高齢者及び基礎疾患を持つ方においては、重症化するリスクが一定程度あると考えられています。

新型コロナウイルス感染症予防接種を受けることができない方

- ・37.5 度以上の発熱がある方
 - ・重篤な急性疾患にかかっている方
 - ・ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症状※の既往のある方
- ※アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

新型コロナウイルス感染症予防接種を受けるのに注意が必要な方

- ・過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
 - ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患などの基礎疾患のある方
 - ・過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
 - ・過去にけいれんを起こしたことがある方
 - ・ワクチンの成分に対して、アレルギーを起こすおそれがある方
- ※抗凝固療法を受けている方や血小板減少症または凝固障害のある方は、接種後の出血に注意が必要とされています。

新型コロナウイルス感染症予防接種の副反応について

主な副反応として、接種後に注射した部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等がみられることがあります。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。稀な頻度でアナフィラキシー(急性のアレルギー反応)が発生したことが報告されています。

もし、アナフィラキシーが起きたときは、医療機関ですぐに治療を受けてください。

厚生労働省では、ワクチン接種後の副反応疑い報告の状況や健康状況に係る調査の結果について公表しており、新型コロナワクチンの安全性については審議会での評価を踏まえ、特段の懸念はないものと考えられています。

予防接種健康被害救済制度について

一般的にワクチン接種では、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあるため、救済制度が設けられています。健康被害が臨時接種又は定期接種として行われた予防接種によるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。詳細は市のホームページをご覧ください。医療保健課にお問い合わせください。

裏面もご覧ください

ワクチンを受けた後は、 15 分以上は接種場所で座って様子を見てください。

※過去にアナフィラキシーショックを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、
採血等で気分が悪くなったり、失神を起こしたことがある方は、30 分ほどお待ちください。



接種日当日

接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

アナフィラキシー	・ 薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。 ・ じんま疹等の皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下(呼びかけに反応しない)を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 ・ アナフィラキシーは特定のワクチンだけに起こるものではなく、様々な医薬品やワクチンの投薬後に報告されています。 ・ 接種後にももしアナフィラキシーショックが起こっても、すぐに対応が可能なよう、医療機関では、医薬品などの準備をしています。
血管迷走神経反射	・ 血管迷走神経反射とは、緊張やストレスなどで起きる、血圧の低下、脈拍の減少などのことです。 ・ 睡眠不足や疲れている時、長時間立っている時、痛みや緊張などの精神的ストレスを感じた時などに、血管迷走神経反射は起こりやすくなります。 ・ 横になって休むことなどで治るので、特に健康上大きな問題になることはありませんが、転倒によりけがをしてしまわないよう注意が必要です。 ・ ワクチン接種前には、十分な睡眠をとり、接種後15分は椅子に座る、体調が優れない場合は体を横たえるなどの予防が必要です。

ワクチンを受けた日の 注意点

激しい運動や過度な飲酒などは控えましょう。
接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、
注射した部位は強くこすらないようにしましょう。

数日後

新型コロナワクチンの主な副反応

接種後に注射した部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、
下痢、発熱等がみられることがあります。こうした症状の大部分は、
接種後数日以内に回復しています。



【詳細についてはこちらから】

市ホームページ



厚生労働省
ホームページ



【お問い合わせ先】
東広島市 健康福祉部 医療保健課
TEL:082-420-0936
FAX:082-422-2416

令和 6 年9月作成